

CASBEE_Sapporo2014v1.2
札幌保健医療大学5号館

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	重点評価項目				評価点	重み係数	評価点	重み係数						
	A	B	C	D										
Q1 建築物の環境品質														
Q1 室内環境														
1 音環境														
1.1 騒音														
1.2 遮音														
1.3 吸音														
2 温熱環境														
2.1 室温制御														
2.2 湿度制御														
2.3 空調方式														
3 光・視環境														
3.1 昼光利用														
3.2 グレア対策														
3.3 照度														
3.4 照明制御														
4 空気質環境														
4.1 発生源対策														
4.2 換気														
4.3 運用管理														
Q2 サービス性能														
1 機能性														
1.1 機能性・使いやすさ														
1.2 心理性・快適性														
1.3 維持管理														
2 耐用性・信頼性														
2.1 耐震・免震														
2.2 部品・部材の耐用年数														
2.4 信頼性														
3 対応性・更新性														
3.1 空間のゆとり														
3.2 荷重のゆとり														
3.3 設備の更新性														

CASBEE_Sapporo2014v1.2
札幌保健医療大学5号館

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	重点評価項目					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
	A	B	C	D						
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.7	
1 生物環境の保全と創出			C		2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮			C		3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				D	3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D	3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	B		C		3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.3	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.4	
1 建物外皮の熱負荷抑制	A			BPIm 0.74	4.0	0.40	-	-	4.0	
2 自然エネルギー利用	A				3.0	0.20	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化				BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	-	-	-	-	-	
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A				-	-	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)	A				-	-	-	-	-	
4 効率的運用					3.0	0.40	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価					3.0	1.00	-	-		
4.1 モニタリング	A				3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制	A				3.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価					-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	A				5.0	-	-	-		
4.2 運用管理体制	A				5.0	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.3	
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1 節水				節水型大便器、小便器の使用	4.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減					3.5	0.60	-	-	3.5	
2.1 材料使用量の削減		B			3.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B			3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B		フローリング、塩ビ床材	4.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B			2.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B		OAフロア、可動間仕切りの使用	5.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.20	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70	-	-		
1 消火剤		B			-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)		B			3.0	0.50	-	-		
3 冷媒		B			3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮		B			3.0	0.33	-	-	3.0	
2 地域環境への配慮					3.3	0.33	-	-	3.3	
2.1 大気汚染防止		B		GHPによるNox、Soxの大幅な排出削減(濃度56%)	4.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D	3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.5	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減		B		雨水浸透貯留施設設置	4.0	0.25	-	-		
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-		
3 交通負荷抑制				充分な駐輪・駐車スペースの確保	4.0	0.25	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	3.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-		
1 騒音					3.0	1.00	-	-		
2 振動					-	-	-	-		
3 悪臭					-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	-	-		
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制					3.0	-	-	-		
3 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70	-	-		
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-		